

サイバーエージェント レディスゴルフトーナメント



今年からスポンサーと会場が変わり、新たなスタートを切った『サイバーエージェント レディスゴルフトーナメント』。会場となった鶴舞カントリー倶楽部は、日本を代表する名匠、井上誠一氏の設計である。「アリソン・バンカー」で有名な設計士のチャールズ・アリソン氏との出会いから、同じ道へ進んだ井上氏は、風土と地形を生かしつつも、戦略性に富んだ美しいコースをつくる事がモットー。池と樹木を多彩に取り入れ、コースの至る所に曲線を配置している美しさは、まさに井上イズムの真骨頂と言えよう。その優しい景観とは裏腹に、

正確なショットと冷静な判断が求められ、結果オーライの望めない難コースは、1971年の開業以来、多くのゴルファーたちを魅了し続けている。

そんな魅力溢れる鶴舞カントリー倶楽部・東コースでゴールデンウィーク真っ只中に開催された本大会は、3日間とも初夏を思わせる爽やかな晴天の中、9524名ものギャラリーが会場を訪れた。

最終日、6アンダーの単独首位に立ったのは有村智恵。5アンダーの全美貞、4アンダーの古閑美保と最終組でスタートした。13番まで首位を快走した有村だったが、強気に攻めた14番が裏目に出て痛恨のダブルボギー。15番はパーとしたが、16番、17番とボギーを叩き、4アンダーと崩れてしまった。逆に正確なショットでスコアを伸ばしたのが、2アンダーでスタートした申ジエ。17番までに6つのバーディーショットを奪う猛チャージをみせ、8アンダーと単独トップに躍り出る。18番も落ち着いてパーパットを沈め、コースレコードの66を叩き出し、見事な逆転優勝を飾った。

「前日、ほかのプロたちと『コースマネジメントが難しいね』と話していたんです。歴史もあり、難しいこのコースで優勝する事ができて本当にうれしいです」と、優勝した申は満面の笑顔でスピーチ。後半崩れて5位Tに終わった有村は「週の前半から体調を崩していて、体力も集中力も前半までしかもたなかった」と悔しがった。

サイバーエージェント レディスゴルフトーナメント

鶴舞カントリー倶楽部・東コース (6,485 ヤード パー72)

- 主催／株式会社テレビ東京・株式会社博報堂DYメディアパートナーズ
- 公認／社団法人日本女子プロゴルフ協会 (LPGA)
- 特別協賛／株式会社サイバーエージェント
- 後援／市原市、東急不動産株式会社、株式会社東急リゾートサービス
- 運営協力／株式会社博報堂、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング、ブリジストンスポーツ株式会社
- テレビ放送／テレビ東京系列全国6局ネット+BSジャパン
- 賞金／総額7,000万円 優勝賞金1,260万円
- 出場選手／108名 決勝進出56名 (150 6オーバーまで)
- 観衆／1R 1,836名、2R 3,290名、3R 4,398名
- 天候／1R 晴れ、2R 晴れ、3R 晴れ
- スコア／優勝・申ジエ 208 (8アンダー)、2位T・飯島茜、古閑美保 210 (6アンダー) 4位・全美貞 211 (5アンダー)、5位T・藤田幸希、有村智恵 212 (4アンダー)